

パソコンの上達方法

2020 年 3 月 24 日

By ミケパパ

近々、この講座を閉じるにあたり、私なりに感じた「初心者にとってのパソコン上達方法」を述べてみたいと思います。

1. できるだけ頻繁にパソコンに触って、慣れること。

「習うより、慣れよ」は、鉄則ですね。1986 年、最初のパソコンを買った当初は、何がなんだかよく分からず結構の期間「飾り物」になっておりましたが、とにかくテキストらしきものを買って、まだ幼稚園前の娘向けのゲームを作ったりしていました。

その後、「一太郎」「123」と言ったソフトウェアが出始めた時には、パソコン関連の情報誌で「ワープロの勉強には日記を書け」「表計算ソフトの練習には、小遣い帳をつけよ」という文を見ましてからは、真面目に日記と小遣い帳を 30 年近く毎日、こりもせず記録しております。

この「日記」と「小遣い帳」は、間違いなく私の PC リテラシー向上に貢献したと自覚しております。皆さまお試しになれば？

よく「壊れないか心配だ」とおっしゃる初心者がいらっしゃいますが、よほどの無茶苦茶をしない限り、パソコンは壊れるものではありません。



2. 身近に「先生」を見つけよう

私の場合、パソコンを使い始めた当時はサラリーマン現役でした。一つ年上の同僚に、システムエンジニア並みにパソコンに詳しい方がいて、分からないことは時々聞いて教えてもらっておりました。誠に口の悪い方でしたので、毎回クソミノにけなされるのですが、質問には親切に答えてもらえました。ご家族や友人に、いざという時に教えてもらう先生＝メンターを見つけておきましょう。お孫さんなんかいいかもしれませんね。

有料のパソコン教室、私は行ったことがありませんが、「ちゃんと卒業した」はずなのに「全然ダメ」という方も見ました。複数で教わるのは、あまり効果が無いのでしょうか？

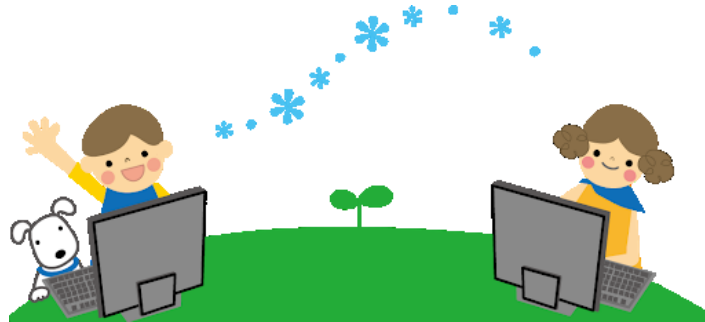
その意味では、当倶楽部の「パソコンクラブ」などは、無料で個人対応してくれますから、大変お勧めです。



3. インターネットを活用しよう

この頃、たいていの疑問はインターネットの検索で質問しますと、親切に答えてくれるウェブサイトが沢山あります。ただし、時々「とんでもない情報」「個人の経験を一般的なもののように書いているページ」があつたりしますので、必ず「複数のページ」を検索しましょう。

又、インターネットは、調べ物だけではなく、映画を見たり音楽を聞いたり、十分余暇の過ごし方に貢献してくれます。ネットサーフィンするだけで結構勉強になりますし。



4. 時々、体操しよう

我々シニアは、それだけでなくあちらこちらにガタが来ているもの。何時間もパソコンの前に座って作業しては、肩こり、腰痛、脊柱管狭窄症・・・といった病気の原因となります。シニアに勉強は大事ですが、健康はもっと大切！ 30分ごとに立ち上がってストレッチしたり、ちょっとコーヒーを入れてリラックスしたりいたしましょう。人生はまだまだ長いです。

